

# 平成30年度企画展概要（案）

資料 4

	展覧会名	事務局	共催(予定)	会 期	開催 日数	概要 (※：想定するターゲット等)	備 考
1	ユニマットコレクション フランス近代美術と珠玉の ラリック展 ―安らぎの美 を求めて―	神戸新聞社		4月14日(土) ～6月17日(日)	57	食品やリゾートに関連する事業を幅広く展開しているユニマットホールディングスの創始者・高橋洋二氏が収集した西洋美術の一大コレクションがユニマットコレクションである。これまで全貌が公開されたことのない質の高いコレクションから、選りすぐりの精華を紹介する。ルノワールやモディリアーニなど日本で人気の高い19～20世紀のフランス美術、およびガラス工芸で名高いルネ・ラリック作品を併せて約100点を展示する。過去の事例から手堅い観覧者数を見込めるジャンル及びタイプの展覧会である。 ※中高年中心の最も厚い美術ファン層がメインターゲットであるが、有名作品を含む入門編的内容でもあり、新規来館者の動機付けとしても期待できる。	巡回館：神戸市立小磯美術館 (2017/9/16-11/12) 北海道立旭川美術館 (2018/7/12-9/2) 佐世保市博物館島瀬美術センター (2018/10/20-12/2)
2	美の競演 東西の美しき女性	青幻舎プロモーション		6月30日(土) ～8月19日(日)	51	埼玉県在住の木原真人氏の日本画のコレクション「木原文庫」から代表作80点余りによって構成する展覧会。木原氏は岩手医科大学出身で、岩手とは縁の深い人物。本コレクションは、錦木清方や伊東深水ら東西の美人画の競演が見どころ。美人画のみならず、横山大観や竹内栖鳳ら近代日本画の名手による優品を含む。常時、安定的な観覧希望のあるジャンルであり、1と同様に手堅い観覧者数を見込める。 ※中高年中心の最も厚い美術ファン層がメインターゲットであるが、過去事例からレトロ志向を有する女性層等の来館が特に期待されるほか、ファッションに関心が高い若年層に対する訴求効果も期待したい。	直近の開催館：明石市立文化博物館 (2017/1/4-2/5)
3	ブルーノ・ムナリー展	美術館連絡協議会	読売新聞社 美術館連絡協議会	9月8日(土) ～11月4日(日)	50	ブルーノ・ムナリー(1907～1998)は、イタリアを代表する芸術家、デザイナーであり、その活動は絵画、彫刻から、グラフィック・デザイン、インダストリアル・デザイン、絵本、著述、造形教育と幅広く、その全体像を短い言葉に置き換えるのは難しいアーティストである。本展は美術家としての側面に焦点をあて、国内にある版画、オブジェ約100点、書籍約100点の他、イタリア国内の作品を加えて構成する美術史的にも大きな意義のある展覧会。先催事例等から1万人程度の観覧を見込むもの。 ※絵本や児童の造形教育周辺の若年・ファミリー層やデザイン・出版等の実業関係者を中心的なターゲットとする他、現代美術やデザインに関心のある一般美術ファンも取り込めるものと期待する。	巡回館：神奈川県立近代美術館 (2018/4/7～6/10) 北九州市立美術館 (2018/6/23～8/26) 岩手県立美術館 (2018年/9/8～11/4) 世田谷美術館 (2018/11/17～2019/1/27)
4	うつわドラマティック展	滋賀県立陶芸の森		11月14日(水) ～12月20日(木)	32	本年3月から6月にかけて滋賀県立陶芸の森にて開催された展覧会に基づき、同館がプロデュースして巡回展に仕立てたもの。用の美を追求したイギリスのバーナード・リーチを先駆けに、続くルーン・リーらは魅せるうつわを模索し、美の領域を広げてきた。本展では彼らをはじめとして、陶芸による表現を追求する国内外のアーティストの作品を一堂に展示する。なお、岩手の陶芸家たちの作品も併せて紹介する。洋画、日本画、絵本・デザインに続く陶芸分野として配し、バランスよく美術ファンの期待に応えようとするもの。 ※幅広い年代の一般美術ファンをターゲットとするが、世界の現代陶芸の紹介を通じて、美術に関心を持ち始めた若年層にも効果的にアピールして取り込みたい。	
5	ますむらひろし展	アドシステム		1月3日(木) ～2月17日(日)	40	ますむらひろしは、宮沢賢治の童話作品の漫画化やアニメーション『銀河鉄道の夜』(杉井ギサブロー監督)の漫画原作者として知られる。賢治作品の登場人物が猫として描かれるその意外な組み合わせは今日でも多くの人を魅了し、漫画化は氏のライフワークの一つとなっている。本展は、氏の代表作の漫画「アタゴオル」のユーモラスな世界と、北斎の浮世絵が合体した「アタゴオル×北斎」のシリーズや、賢治作品のイラスト等で構成される。文学性とユーモア感を包含する独自のアート周辺領域として楽しんでいただくもの。 ※80年代に青春時代を過ごした中年世代とそのファミリーが底堅いターゲットに想定される他、若年のサブカルチャー層も幅広く取り込めることが期待される。	
6	アートフェスタいわて2018		岩手芸術祭実行委員会	3月2日(土) ～3月24日(日)	20	本展は第16回目の展示。2019年秋に開催される第71回岩手芸術祭美術展の受賞(芸術祭賞、優秀賞、奨励賞)作品に加え、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画の10部門それぞれから推薦された美術家たちの作品100点。平成29年に受賞した平成27年度岩手県美術選奨受賞作家5人の作品も併せて展示。 ※岩手芸術祭関係者と受賞者・出品者及びその家族をメインの来館者と見込む他、美術領域で創作活動を行っている学生層に対し「若手作家の登竜門」としての視点から観覧の促進に努めたい。	

※1 実行委員会会員は、原則として負担金と各種必要経費の半額を負担するものとする。  
 ※2 アートフェスタいわて2018は、実行委員会形式では行わないものとする。